

目次

年間指導計画 第1学年 R2年度(14時間)	1
年間指導計画 第1学年 (35時間)	2
指導案 実践1(1学年)	3
指導案 実践2(1学年)	6
指導案 実践3(1学年)	11
指導案 実践4(2学年)	16
指導案 実践5(3学年)	19

令和2年度 1年生道徳科 年間指導計画(14時間)

ユニット 『 』はユニット名 〔 〕は関連する学校行事	内容項目 ☆は重点項目	ユニットのねらい 授業ごとの振り返り
7月(3時間) 『他人を思いやる気持ち 【保護者・地域の願い】』 16 むかで競走 18 公平と不公平 (6 近くにいた友) ○ユニットテーマのまとめ	C-(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実 ☆C-(11)公正, 公平, 社会正義 (B-(8)友情, 信頼)	クラスで団結してよりよい集団にするために、誰とでも公平につきあい、協力しあおうとする心情を育てる 16 協力することについて考え、お互いを大切にしよう姿勢を考える 18 あつてはならない違いの学習から、何事にも公平に判断する姿勢を考える (6 信頼関係について考えてきたことから、自分が信頼されるような行動を目指す)
9月中～10月中(4時間) 『地域社会に進んで参加 【保護者・地域の願い】』 25 震災を乗り越えて (久米民之助(群馬の道徳)) 21 富士山から変えていく 3人のフリみて ○ユニットテーマのまとめ	C-(16)郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 C-(12)社会参画, 公共の精神 ☆B-(6)思いやり, 感謝	地域とのつながりを知り、地域への感謝の気持ちをもちながら、地域社会のために貢献しようとする心情を育てる 25 伝統文化に関わる活動から、身近な伝統文化を守る方法を考える 21 富士山でのごみ拾いから、身の回りの環境を見直し、改善していかうと考える 3 お互いに支え合っていることの学習から、身の回りのものへの感謝について考える
10月下～11月(4時間) 『人間の価値を自覚し、自他を尊重できる 【道徳教育の目標】』 19 違いを乗り越えて 20 あふれる愛 30 自分だけ「余り」になってしまふ…… (15 二人の約束) ○ユニットテーマのまとめ	C-(18)国際理解, 国際貢献 ☆D-(19)生命の尊さ B-(9)相互理解, 寛容 (A-(1)自主, 自律, 自由と責任)	お互いの長所を生かし合い、助け合つて生活することについて考えることができる 19 多文化の理解から、相手との違いを受け入れる気持ちを考える 20 死を待つ人を救おうとする気持ちから、友達を支えることについて考える 30 一人になることの話合いから、仲間外れを作らないようにすることについて考える (15 決めたことに対する責任から、相手との信頼関係の作り方を考える)
2月～3月(4時間) 『望ましい生活習慣 【道徳教育の目標】』 28 裏庭でのきこと 9 ふれあい直売所 (29 旗) ○ユニットテーマのまとめ	A-(1)自主, 自律, 自由と責任 C-(10)遵法精神, 公德心 (B-(8)友情, 信頼)	来年度先輩として行動するために必要な心構えを考えることができる 28 誠実に生きようとする気持ちから、責任のある行動を考える 9 みんなでまもりを守る生活をつくらうとする気持ちを考える (29 友達を励まし支えることから、入学してくる後輩をどのように迎えるかを考える)

()がついている教材は生徒の実態によって追加したり、他の教材と入れ替えたり、家庭学習にしたりすることができもの
C-11ではコロナウイルス感染症を原因とする偏見・差別なども含めたいじめ防止に触れる。

1年生道徳 年間指導計画(35時間)

	ユニット (『』はユニット名)	内容項目 (☆は重点内容項目)	ユニット・各授業のねらい
1 学 期 1 2 時 間	『強い体と心 【道徳教育の目標】』 1 サッカーの漫画を描きたい (33 小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦) 4 「愛情貯金」をはじめませんか (2 挫折から希望へ) 10 あったほうがいい？ ○ユニットテーマのまとめ	A-(4)希望と勇気, 克己と強い意志 (A-(4)希望と勇気, 克己と強い意志) B-(7)礼儀 (D-(22)よりよく生きる喜び) C-(12)社会参画, 公共の精神	新しい生活を良いものにするための心がけを考える 1 困難に向かって努力する気持ちについて考える (33 日々の努力を積み重ねようとする気持ちについて考える) 4 あいさつの意義を意識しながら行動する気持ちを考える (2 弱さに立ち向かう気持ちについて考える) 10 よりよい中学校生活をつくろうとする気持ちについて考える
	『地域社会に進んで参加 【保護者・地域の願い】』 25 震災を乗り越えて (久米民之助(群馬の道徳)) 21 富士山から変えていく 3 人のフリみて ○ユニットテーマのまとめ	C-(16)郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 C-(12)社会参画, 公共の精神 ☆B-(6)思いやり, 感謝	持続可能な社会を作っていくこうとする心情を考える 25 身近な伝統文化に関わろうとする気持ちについて考える。 (31 地域の良さを話し合い, それらを守ろうとする心情を考える) 26 伝統文化の受け継ごうとする気持ちを考える 23 身の回りの自然現象の美しさを探そうとする気持ちを考える 22 自然との共生しようとする気持ちを考える (21 身の回りの環境を見直し, 改善しようとする気持ちを考える)
	『社会の規律を守る 【道徳教育の目標】』 12 疾走, 自転車ライダー 11 花火に込めた平和への願い 17 使っても大丈夫？	A-(2)節度, 節制 C-(18)国際理解, 国際貢献 C-(10)遵法精神, 公德心	自分や身近な人たちが安全に生活できるようにしようとする心情を考える 12 周りに配慮して行動しようとする気持ちについて考える 11 争いのない生活にしようとする気持ちを考える 17 法やきまりについて考え, 自他の権利を守ろうとする気持ちを考える
2 学 期 1 6 時 間	24 家族と支え合うなかで 8 あなたはすごい力で生まれてきた (27 ゆうへ —生きていてくれてありがとう—) ○ユニットテーマのまとめ	C-(14)家族愛, 家庭生活の充実 ☆D-(19)生命の尊さ (D-(19)生命の尊さ)	24 家庭での自分の役割を引き受けよとする気持ちを考える 8 自分や周りの人を大切にすることを考える (27 家族を支えようとする気持ちについて考える)
	『他人を思いやる気持ち 【保護者・地域の願い】』 3 人のフリみて 18 公平と不公平 16 むかで競走 ○ユニットテーマのまとめ	☆B-(6)思いやり, 感謝 ☆C-(11)公正, 公平, 社会正義 C-(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実	誰とでも公平につきあい, 協力しあおうとする心情を考える 18 何事にも公平に判断しようとする気持ちを考える (5 誰とでもよい関係を作ろうとする気持ちを考える) 16 協力することについて考え, 集団の中での助け合いの気持ちを考える
	『みんなで高め合おうとする豊かな心 【学年の重点目標】』 34 緑のじゅうたん 6 近くにいた友 (13 部活の帰りに) 9 ふれあい直売所 ○ユニットテーマのまとめ	A-(5)真理の探究, 創造 B-(8)友情, 信頼 (B-(8)友情, 信頼) C-(10)遵法精神, 公德心	クラスの目標に向かって全員で行動していくこうとする心情を考える 34 一人一人が努力を積み重ねていくこうとする気持ちを考える 6 お互いに信頼されるような行動をしようとする気持ちを考える (13 人として異性とも協力しようとする気持ちを考える) 9 お互いを信頼し, 全体を考えて行動しようとする気持ちを考える
3 学 期 7 時 間	『自他を尊重する 【道徳教育の目標】』 5 さかなのなみだ (19 違いを乗り越えて) 20 あふれる愛 15 二人の約束 30 自分だけ「余り」になってしまう…… ○ユニットテーマのまとめ	☆C-(11)公正, 公平, 社会正義 (C-(18)国際理解, 国際貢献) ☆D-(19)生命の尊さ A-(1)自主, 自律, 自由と責任 B-(9)相互理解, 寛容	お互いの長所を認め合い, 信頼し合える関係をつくろうとする心情を考える 3 お互いのよさを認め合おうとする気持ちを考える (19 相手との違いを受け入れる気持ちを考える) 20 お互いに自己肯定感を持てる関係を作ろうとする気持ちを考える 15 相手に信頼される行動をしようとする気持ちを考える 30 相手からのアドバイスを素直に受け入れようとする気持ちを考える
	『社会に貢献できる仕事 【道徳教育の目標】』 7 トマトとメロン 32 役に立つことができるかな (14 私は清掃のプロになる) ○ユニットテーマのまとめ	A-(3)向上心, 個性の伸長 C-(13)勤労 (C-(13)勤労)	仕事の意義について考え自分にあった進路選択をしようとする心情を考える 7 自分なりの進路選択をしようとする気持ちを考える 32 社会の役に立つ職業を選ぼうとする気持ちを考える (14 仕事を通して人とのつながりを大切にしようとする気持ちを考える)
	『望ましい生活習慣 【道徳教育の目標】』 28 裏庭のできごと 29 旗 35 いつわりのバイオリン ○ユニットテーマのまとめ	A-(1)自主, 自律, 自由と責任 B-(8)友情, 信頼 D-(22)よりよく生きる喜び	来年度先輩として後輩の手本となる行動をしようとする心情を考える 28 責任のある行動しようとする気持ちを考える 29 入学してくる後輩を先輩として支えていくこうとする気持ちを考える 35 先輩として前向きに生活しようとする気持ちを考える

() がついている教材は生徒の実態によって追加したり, 他の教材と入れ替えたりすることができるもの

○ユニット 本当の思いやりとは(3時間中の1時間目)

○ユニットテーマ なぜ助け合いが必要なのだろうか

○主題名 みんなをまとめる力(内容項目C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実)

○資料名 16むかで競争

○本時のねらい よりよい集団にするために、全員で協力して取り組もうとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。	10分		・なぜ助け合いが必要なのかをユニットで追求していることを確認する。
2 現状のクラスを確認する。		○今のクラスの良さは何だろう。 ・元気・仲がいい	・良さを見付けられるよう、前向きにとらえられる部分を上げさせる。
3 教材文の範読を聞き、一宏が参加することについて考える。(班活動)	15分	○むかで競争の日に一宏に休んでもらった方がいいだろうか。それぞれの良い面、悪い面を考えよう。 ・一宏が休めば優勝できる可能性が上がりクラスのみみんなも頑張れる。 ・一宏が休めば勝てるかもしれないけど、一宏は参加できなくて傷つく。 ・一宏が参加したほうが、クラスの本当の団結力が高まる。	・教科書 P90 の2行目まで読む。 ・一宏が休むことによってクラスがどのようになっていくかを考えさせる。 ・競技において大事なことは何なのかに気付かせる。
4 クラスの変化について考え、お互いの意見を交流する。(個人→班)	15分	◎クラスのみみんなに参加できたことでクラスが良くなったことはあるか。その時は、どんな気持ちだったか。 ・小学校の運動会のときも、最後に全員でやりきったときは、みんなで応援し合って、クラスのみみんなで頑張ることができて嬉しかった。	・みんなが参加できなくて残念だった体験でもよいことを伝え、その時の気持ちを書かせる。その際、今後前向きな気持で取り組めるようにするために、失敗した体験は深入りしすぎないようにする。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○よりよいクラスにするためにはどうしたらよいらうか。 ・競技になるとどうしても勝ち負けを考えてしまうので、ミスをした人に文句を言いたくなるけど、全員で練習して参加することの方が大事なので、ミスした人を応援できるクラスにしていきたい。	・どう考えたのかが分かるよう、理由も入れて書かせる。これまでの経験等も積極的に利用できるようにする。 ・「one for all. all for one.」を紹介し、集団や社会をよりよくしていくために必要な考え方であることを伝え、実践意欲を高める。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○一人も欠けることなく全員で参加しようとする気持ちについて考えることができる

○ユニット 本当の思いやりとは(3時間中の2時間目)

○ユニットテーマ なぜ助け合いが必要なのだろうか

○主題名 公平とは何か(内容項目C-(11)公正、公平、社会正義)

○資料名 18公平と不公平

○本時のねらい 話し合いを通じて、相手の立場を考えて公平に行動しようとする態度を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 不公平について考える。	7分	○不公平だなと感じたときはどんなときだろう。 ・兄弟での違い。 ・給食の量の違い。	・テーマを3時間で追求していることを確認する。 ・具体的なイメージが持てるよう、ちょっとしたことでも不公平感があることを確認する。
めあて：誰とでも公平に付き合うために必要なことは何か			
3 3つの場面について資料を読み、話し合う。(班活動)	15分	○次の3つの場面について公平と言えるか話し合おう。 ・①は同じ年になればもらえるのだから公平。 ・②は同じ様に動けないから公平。 ・③は他の人が何もしてなければ不公平。	・それぞれの考えが出せるよう3つの場面を均等になるよう分担する。 ・クラスで共有できるように、話し合った内容を班ごとに発表させる。 ・班で結論がまとまらなくても考えたことが伝わるように、どこで意見がまとまらなかったのかを発表させる。
4 公平について考え、お互いの意見を交流する。(個人→班)	18分	◎ どういうことが公平なのだろうか。 ・それぞれの立場を考えて必要な違いなら公平。 ・その場面では違っていても、結果としてみんなが同じように楽しめるのなら公平。	・公平を考えるヒントになるよう、平等と公平のイラストを見せて、違いを考えさせる。 ・公平を考えるためには、相手の立場や状況を理解する必要があることを確認する。
5 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○誰とでも公平に付き合うにはどうしたらいいだろうか。 ・人によってやり方を変えるのは平等ではないと思うけど、相手の立場を考えた行動なら、それは公平なことなので、みんながいい気持ちになれるような公平な考えで判断できるようにしていきたい。	・コロナウイルスなどの偏見による差別はあってはならない違いであることも必ず触れ、相手の立場を正しく理解することが公平な判断につながることを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○相手の立場を考えた上での公平になるように考えることができる

○ユニット 本当の思いやりとは(3時間中の3時間目)

○ユニットテーマ なぜ助け合いが必要なのだろうか

○本時のねらい これまでの学習を基に、ユニットテーマについて話し合い、自分の考えをまとめる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 前時までの確認をする。	7分	○これまでの授業で何を学んできたろう。 ・クラス全員で協力することを学んだ。 ・公平にするために、相手のことを考えることを学んだ。	・発表させた生徒の意見以外にも目を向けられるよう、いろいろな考えがあってよいことを確認する。
めあて:「なぜ助け合いが必要なのだろうか」について、自分の考えをまとめよう			
2 テーマについての課題を考える。(班)	10分	○助け合いがないと、クラスはどうなるだろうか。 ・自分勝手なことばかりする。 ・相手の気持ちを考えないで悪口を言う。	・現在クラスで起こっている具体的な悪い例になりすぎないよう気をつける。
3 テーマについての考えを話し合う。(フリートーク)	15分	○テーマについて、じっくりと話し合っていて、納得できた考えができたならホワイトボードに書こう。 ・クラスのみみんなで楽しく過ごせるようにするため	・話し合いが活発になるように、発言を称賛したり、なぜそう考えたのか問い返したりする。
4 ホワイトボードの他の人の考えを知る。(全体)	5分	・人には得意なことや不得意なことがあるから、不得意な所を他の人が助けられるようにするため。	・ホワイトボードに書かれた考えに対して自由に質問できるように、名前も書かせる。 ・友達の考えのよいところは自分の意見に積極的に取り入れていけるように、メモをとらせる。
5 テーマに対する自分の考えをまとめる。(個人)	8分	◎「なぜ助け合いが必要なのか」についての自分の考えと、そう考えた理由を書こう。 ・全員が楽しいクラスで過ごせるようにするために、それぞれの得意な所を生かして、全員で不得意な所をカバーできるようにするため。そう考えた理由は、みんなでやれば楽しいし、クラスの団結力も高まると思ったから。	・考えの変容が見取れるように、これまでの学習の中で自分の考えがどう変わったのかを理由で書けるようにする。また、考えの根拠に説得力をもたせられるよう、理由の中に自分の経験も積極的に取り上げさせる。
6 数人が発表し、他の人の考えも聞く。	5分	(ユニットで目指す生徒の姿)	・このユニット全体で学習したことを、家族に説明し、保護者に聞いた感想を書いてもらうよう指示する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○これまで学習したことを基に、自分の考えをまとめることができている。

- ユニット 地域行事に進んで参加(4時間中の1時間目)
- ユニットテーマ しあわせを実感できるまちにするために
- 主題名 郷土のために寄与する (内容項目C-(16) 郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度)
- 資料名 久米民之助の夢(ぐんまの道徳)
- 本時のねらい 地域の活動に積極的に関わろうとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 久米民之助について知る。	10分	○沼田公園は誰が作ったか知っているか。 ・沼田市・久米民之助	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・総合学習で学んだことなどを想起させる。
めあて：地域のためにどんなことをしていきたいか			
3 資料文の範読を聞き、地域の援助がなければ沼田公園はなかったことを考える。(班)	10分	○もし地域の人達からの援助がなかったらどうなっていたらだろう。 ・大学に行けない→設計の仕事ができない→沼田公園ができない→花見ができない	・沼田公園との関わりも考えられるよう、最終的に沼田公園がなかったら自分達がどうなるかまで考えさせる。
4 地域の人達の思いを考える。(個人→全体)	10分	○なぜ地域の人達は民之助に援助しようと思ったのか。 ・地域の子供のために考えて。 ・沼田の将来を良くするために。	・父親の門下生だからということだけでなく、援助しようという気持ちを考えさせる。
5 自分達と地域との関わりを考える。(個人→全体)	10分	◎地域の人達に支えられていると思ったことはあるか。 ・通学路を見守ってくれるお年寄りがいて、あいさつしてくれる。 ・子ども会で祭りなどの楽しい行事をしてくれる。 ・消防署の方が避難訓練に来て、話をしたり、消火器の使い方を教えてくれたりする。	・多くの場面で関わっていることに気付かせるために、ボランティア活動だけでなく、仕事としての活動など、子供のためと思って行っていることも考えさせる。 ・多くの場面でお世話になっていると気付かせられるよう、複数の例を書かせる。
6 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○地域のためにどんなことをしていこうと思うか。 ・地域の子供のために活動している人に感謝して、子ども会に参加したり、勉強を頑張ったりしたい。	・心情に注目できるように、具体的な行動は書かなくてもよいこととする。 ・将来のことだけでなく、今できることについても考えさせる。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言
○地域の支えに気づき、沼田市のために何ができるか書くことができる。

○ユニット 地域行事に進んで参加(4時間中の2時間目)

○ユニットテーマ しあわせを実感できるまちにするために

○主題名 つながりが生み出す力(内容項目C-(12)社会参画、公共の精神)

○資料名 21富士山から変えていく

○本時のねらい よりよい集団にするために、全体のことを考えて行動しようとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 野口健について知る。	5分	○野口健を知っているか。 ・登山する人	・テーマを確認し、4時間で追求することを伝える。 ・次の発問での意見を出しやすくできるように、登場人物の紹介に留める。
3 教科書の範読を聞き、ごみ拾いで野口さんの葛藤を話し合う。(班→個人)	20分	○あなただったら、ごみ拾いをするか、登頂に向けて体調を整えるか。班でそれぞれの良い面、悪い面を考えよう。 ・自然を守るためにごみ拾いに参加する。 ・ゴミを拾いたいけど、登山家としての目標が大事なので休む。 ・ゴミを拾わないと、登頂できたとしても、いい気分ではなくなる。	・教科書 P110、5行目から P111、13行目まで読む。 ・両方の立場を理解できるように、それぞれを選択した時のメリット、デメリットを比較させる。
4 教科書の続きを読み、学校生活での自分の行動について考える。(個人→全体)	15分	◎クラスや学校のために何かしたことがあるか。その時の気持ちはどうだったか。また、そういう経験がなければなんでやらなかったのか。 ・学級委員長をやったときは、クラスをまとめようと思っていた。 ・係の仕事をするときに、みんなのために忘れずにやろうと思った。 ・誰かがやるだろうと思って何もしてこなかった。	・係や委員会の仕事も気持ち次第で全体のためになっていることを理解できるように、全体の場で具体的な例を挙げさせる。 ・多くの生徒が経験したことから考えられるよう、小学校での経験も使ってよいことを伝える。 ・いろいろな立場の考えが分かるようにするために、成功例だけでなく、失敗した例も発表し、共有する。
5 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○クラスや学校などの集団のためにどんなことをしていきたいか。 ・誰かがやるだろうとか、仕事だからという気持ちではなく、みんなのためにやるという気持ちをもって、係の仕事をしていきたい。	・係の仕事頑張るといような行動だけでなく、どんな気持ちで行動したいのかを書くようにさせる。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○クラスや学校などの全体のためにできることをやろうとする気持ちを書くことができる。

- ユニット 地域行事に進んで参加(4時間中の3時間目)
- ユニットテーマ しあわせを実感できるまちにするために
- 主題名 言葉のもつ不思議な力(内容項目B-(6)思いやり、感謝)
- 資料名 3人のフリみて
- 本時のねらい 感謝するとはどういうことか考え、感謝を伝えようとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 感謝を伝えた場面を思い出す。	5分	○最近「ありがとう」と言った場面があるか。	・テーマを確認し、4時間で追求することを伝える。 ・全員が具体的な例を後で考えられるよう、いくつかの例を発表させる。
めあて：どのように感謝の気持ちを伝えたらよいか			
3 教科書の範読を聞き、感謝の気持ちの大きさを考える。 (個人→全体)	7分	○レジの人に言う「さりげないありがとう」はどれくらい感謝の気持ちがあるだろうか。数直線に記入し、理由を書こう。 ・10%、形だけで言っている感じだから。 ・50%、命に比べるとお世話になっている大きさは小さいから	・生徒にゆさぶりをかけられるよう、命を助けてもらった時のありがとうの例を紹介し、比較させる。
4 本当の感謝とはどういうことか考える。 (個人→班)	15分	○レジの人に言う「ありがとう」は本当の感謝と言えるか。 ・一言でも相手に気持ちが伝わることはあるから、感謝と言える。 ・気持ちが軽すぎるから感謝とは言えない。	・両方の立場からの意見が出るよう、意図的に指名し、両方の意見のポイントを板書してまとめる。 ・次の発問の経験の発表を聞きながら、相手に対して気持ちを伝えようとするポイントを強調する。
5 自分の経験を思い出し、本当の感謝に必要なことを確認する。 (個人→全体)	13分	◎自分が感謝したときは、どんなことをして、どんな気持ちだったか。感謝されたときはどうだったか。 ・一言言っただけだけど、ありがとうの気持ちを伝えたかった。 ・手紙を書いてくれて、相手の気持ちがよく分かって嬉しかった。	・自分の思いを素直に伝えようとするのが大事であることを確認する。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○身の回りの人たちに、どうやって感謝の気持ちを伝えていこうと思うか。 ・一言しか言えないかもしれないけど、自分を支えてくれているたくさんの人達に感謝の気持ちを伝えられるようにしたい。	・どんな方法で相手に応えようとするのかは人によって違っていてもよいが、伝わるように相手のことを考えることが大事であることを確認する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○自分から進んで感謝の気持ちを伝えようとする気持ちを書いている。

○ユニット 地域行事に進んで参加(4時間中の4時間目)

○ユニットテーマ しあわせを実感できるまちにするために

○本時のねらい これまでの学習を基に、ユニットテーマについて話し合い、自分の考えをまとめる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 前時までの確認をし、本時のめあてを確認する。	7分	○これまでの授業で何を学んできただろう。	・発表させた意見以外にも目を向けられるよう、いろいろな考えがあつてよいことを確認する。
めあて：「しあわせを実感できるまちにするために」について、まとめよう			
2 テーマについて確認をする。(班)	8分	○この地域に住んでいてよかったと思ったことはあるだろうか。 ・祭りのときは、自分達も参加できて楽しい。 ・通学路の安全を見てくれる人がいて、挨拶してくれるとき。	・次の活動でまとめをしやすいできるように、分かりやすく短文でまとめさせる。
3 テーマについての考えを話し合う。(フリートーク)	15分	○テーマについて、これからどのような気持ちでどんな事をしていったらいいだろう。納得できた考えができたならホワイトボードに書こう。	・話し合いが活発になるように、発言を称賛したり、なぜそう考えたのか問い返したりする。
4 ホワイトボードの他の人の考えを知る。(全体)	5分	・地域みんながよい気持ちになれるよう、どんなことにもありがとうを言っていきたい。	・ホワイトボードに書かれた考えに対して自由に質問できるように、名前も書かせる。 ・友達の考えのよいところは自分の意見に積極的に取り入れていけるように、メモをとらせる。
5 テーマに対する自分の考えをまとめる。(個人)	10分	◎「しあわせを実感できるまちにするために」何ができるか自分の考えと、そう考えた理由を書こう。 ・自分達のために地域の人達がしてくれていることに対して自分から感謝の気持ちを伝えながら、地域のための行事などに参加していきたい。理由は、感謝されたときにやってよかったなって思ったことがあったので、地域全体で感謝し合えるようになればしあわせを感じられると思ったから。(ユニットで目指す生徒の姿)	・考えの変容が見とれるように、これまでの学習の中で自分の考えがどう変わったのかを理由で書けるようにする。また、考えの根拠に説得力をもたせられるよう、理由の中に自分の経験も積極的に取り上げさせる。
6 数人が発表し、他の人の考えも聞く。	5分		・色々な考え方があることを紹介できるように意図的に異なる意見をもつ生徒を指名する。 ・このユニット全体で学習したことを、家族に説明し、保護者に聞いた感想を書いてもらうよう指示する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○これまで学習したことを基に、自分の考えをまとめることができている。

○ユニット 地域社会に進んで参加(4時間中の1時間目 選択)

○ユニットテーマ しあわせを実感できるまちにするために

○主題名 郷土芸能を伝える (内容項目C-(16)郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度)

○資料名 25震災を乗り越えて

○本時のねらい 伝統行事に関わる人たちの気持ちを知り、主体的に関わろうとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 身近な伝統芸能を考える。	10分	○地域で昔から行われている伝統に参加したことがあるか。 ・地域のまつりのお囃子・地域の人形芝居 ・何もしていない	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・総合学習で学んだことなどを想起させる。学習活動4につなげられるよう、活動に参加している生徒を確認する。
3 教科書の範読を聞き、郷土芸能を続ける場合と続けない場合を比べる。(班→個人)	15分	○自分だったら、郷土芸能発表を復活させたいと思いますか。生活の再建を手伝いますか。それぞれ選んだ結果どうなるか。 ・発表することで、地域の人を励まし再建に向けて協力できる。 ・生活が苦しい人から反対される。 ・伝統はなくなるが、再建を手伝うことで新しいきずなが作れる。	・教科書 P131、3行目まで読む。 ・伝統行事に対する地域の人の思いを考えられるようにするために、両方のメリット、デメリットをまとめる。 ・伝統行事を通して地域の人達とのつながりができていることに気付かせていく。
4 教科書の続きを読み、伝統行事との関わりを考える。(個人→全体)	15分	◎ 地域の伝統行事に参加することで地域の人達とどんなつながりができているか。 ・子供会をしている人とは、普段もあいさつしたり、声をかけてくれたりしている。	・多くの生徒が体験から考えられるように、子供会の行事も昔から続いているものとして考えてよいことを伝える。
5 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○今後、地域の伝統行事にどのように関わりたいと思うか。そう思った理由も書こう。 ・親から言われてお囃子の練習をしてきたけど、自分は地域のお世話になっていると分かったので、今後はカルタ大会などの子ども会にも参加したい。	・理由では、授業で考えたことや、これまでの経験を使って書けるようにする。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○伝統行事を行う地域の人との関わりを考え、今後どのように伝統行事に関わりたいのかを書いている。

○ユニット 自他を尊重する(4時間中の1時間目)

○ユニットテーマ 共に生きるとは

○主題名 生まれてきた大切な生命(内容項目D-(19)生命の尊さ)

○資料名 20あふれる愛

○本時のねらい 命の大切さを学び、お互いに支え合いながら生きていこうとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 マザーテレサ、スラム街について知る。	5分	○マザーテレサを知っているか ・スラム街の人たちはかわいそう。 ・どうして助けないんだろう。	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・写真を掲示するなど簡単に紹介する。 ・活動の中心となったコルカタのスラム街についても説明する。
3 教科書の範読を聞き、助けられない人に手当てするか考える。(班)	15分	○あなたなら、死ぬに決まっている人の手当てをするか。手当てをしたとき、しなかったとき、病人や病院はどうなるだろうか。 ・手当てをしてくれた人に感謝できる。 ・何もしなければ絶望して死ぬ。 ・助けられる人を助けられなくなる。	・教科書 P108、2行目まで読む。 ・病院の葛藤についても考えられるように、病人の気持ちと、受け入れる病院の状況を対比できるようにする。 ・現在の仕組みを学べるよう、ホスピス等を紹介する。
4 教科書の続きを読み、学校生活での自分の行動について考える。(個人→全体)	20分	◎ 友達が前向きになるようなことをしたことや、してもらったことはあるか。 ・部活でうまく行かなくて落ち込んでいるときに自分の良さを教えてもらって、自分に自信がもてた。	・自己有用感に目を向けられるよう、マザーテレサが、自分は不要な人間だと思わせないように活動していることを伝える。
5 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○今後、自分の身の回りの人達とどのように関わっていきたいか。 ・一人一人が大事な存在なので、みんなが前向きになるように声をかける ・仲のいい友達だけではなく、みんなを大事にできるように、よい面を見付けていきたい。	・マザーテレサが「世界平和のために、私たちは何をすべきでしょうか？」という質問に対し「家に帰り、家族を大切にしてください。」と答えたことを紹介し、身近な人から大事にしていく考え方を伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○他人の存在価値について考え、お互いに支え合おうとする気持ちを書くことができる。

○ユニット 自他を尊重する(4時間中の2時間目)

○ユニットテーマ 共に生きるとは

○主題名 多文化の理解を深める(内容項目C-(18)国際理解、国際貢献)

○資料名 19違いを乗り越えて

○本時のねらい 考え方や文化の違いを理解し、違いを尊重しようとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 「ホームステイ」について知る	5分	○「ホームステイ」を知っているか ・英語を勉強する。 ・外国の家庭にお世話になる。	・テーマを確認し、4時間で追求することを伝える。 ・国際交流活動をしてきた先輩の様子を写真で紹介し、語学以外にも色々な体験を紹介する。
3 教科書の範読を聞き、そばの食べ方について話し合う。 (班→個人)	20分	○あなたなら、そばの食べ方をきちんと教えるか、相手に合わせるか。それぞれの良い面、悪い面を考えよう。 ・日本の文化を伝えられる。 ・相手が嫌な気持ちになる。 ・楽しく食べることができる。 ・そばの食べ方を教えられない。	・教科書 P103、14 行目まで読む。 ・文化を伝えることと、相手の気持ちを考えることを比較できるようにする。
4 教科書の続きを読み、学校生活での自分の行動について考える。 (個人→全体)	15分	◎それぞれの小学校でやってきたことが違って困ったことはなかったか。その時どうすればよかったか。 ・係の仕事の仕方が違って、どうしていいかわからなくて困った。相談して決めればよかった。 ・小学校の時の話をしている、自分だけ違っていただけだったので、話についていけなかった。知らないことを教えてもらえばよかった。	・困った経験がない生徒も違いから学べることがあるという考えに気付けるよう、小学校での違いについて書かせる。 ・違いがあることで、色々な見方や考え方を学ぶことができることに気付けるよう、違いを生かす方法も全体で考えさせる。
5 学習内容を振り返る。 (一枚ポートフォリオ)	10分	○考え方や文化の違う人とどのように関わっていけるとよいだろう。 ・方法が違っていても、一緒にやろうとする気持ちは同じなので、よく相談して一緒にできる方法を考えていきたい。 ・お互いのよさを見付けあって、教え合えあいながら違いを理解していきたい。	・文化の違う外国人だけでなく、日本人でも一人一人の経験や考え方は違うので、相手との違いを理解しようすることが外国人理解につながっていくことを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○お互いの違いを理解し合い、相手との違いを大切にする気持ちについて書くことができる。

○ユニット 自他を尊重する(4時間中の3時間目)

○ユニットテーマ 共に生きるとは

○主題名 お互いを認め合う(内容項目B-(9)相互理解、寛容)

○資料名 30自分だけ「余り」になってしまう・・・

○本時のねらい いろいろなものの見方や考え方から学び、自分自身を高めようとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 グループ分けで余ることについて考える。	5分	○グループ分けの時余りになって困ったことはないか。 ・体育の時、ペアが見つからなくて困った。	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・教材の事例が身近なものであることをイメージさせる。
めあて：他人からのアドバイスをどのように聞いたらよいか			
3 教科書の範読を聞き、好美さんの気持ちを考える。(全体)	10分	○重松さんの説明を聞いて、寂しさを感じている好美さんは納得できるだろうか。 ・寂しい気持ちは変わらないからちゃんと納得はできてない。	・正しいことを言われても、心から受け入れることができない場合があることを考えさせる。
4 アドバイスについて考える。(班)	10分	○あなたならどんなアドバイスをするか。 ・クラスは別でも親友に悩みを相談する。	・相手のことを真剣に考えてアドバイスしようとしていることを確認するために、どのようにアドバイスを考えたかを聞く。
5 アドバイスされたときの自分の体験を考える。(個人→全体)	15分	◎ 友達や先生、家族からのアドバイスはきちんと受け入れられているか。受け入れられないこともあるか。そのときの気持ちはどうだったか。 ・友達が自分の悩みを真剣に聞いてアドバイスしてくれたので、素直に聞くことができた。 ・親の言うことが正しいと分かっていたけど、何となく文句を言ってしまった。	・アドバイスを受け入れることができるときはどんな気持ちの時か、受け入れられないときはどんな気持ちの時か、比較できるように両方の意見を紹介していく。 ・謙虚に聞くための気持ちとはどういうことか、体験から考えさせる。
6 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○友達や先生、家族からのアドバイスをどのように聞いていきたいか。 ・自分のことをきちんと考えて教えてくれているので、納得できない気持ちがあっても、まずはきちんとアドバイスを聞けるようにしていきたい。	・どんなアドバイスでも、受け入れようとする気持ちがあれば、自分の成長につなげていくことができることを伝え、謙虚な態度について理解できるようにする。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○ユニット 自他を尊重する(4時間中の4時間目)

○ユニットテーマ 共に生きるとは

○本時のねらい これまでの学習を基に、ユニットテーマについて話し合い、自分の考えをまとめる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 前時までの確認をし、本時のめあてを確認する。	7分	○これまでの授業で何を学んできただろう。	・発表させた意見以外にも目を向けられるよう、いろいろな考えがあつてよいことを確認する。
めあて:「共に生きるとは」 ということか、自分の考えをまとめよう			
2 テーマについての課題を考える。(班)	10分	○「共に生きる」を実現できていないときはどんなときだろう。身の回りの出来事を考えてみよう。 ・給食の時、自分勝手に軽いものを運ぶ。 ・ふざけていてつい相手を傷つける言葉を言ってしまった。	・悪者探しにならないように、誰がしたかではなく、出来事のみ挙げられるように呼びかけ、身近な問題を意識できるようにしていく。
3 テーマについての考えを話し合う。(フリートーク)	15分	○テーマについて、じっくりと話し合つて、納得できた考えができたならホワイトボードに書こう。	・話し合いが活発になるように、発言を称賛したり、なぜそう考えたのか問い返したりする。 ・ホワイトボードに書かれた考えに対して自由に質問できるように、名前も書かせる。
4 ホワイトボードの他の人の考えを知る。(全体)	5分	・日頃から相手の気持を考えた行動をする。 ・自分とは違うことを理解しようとする。 ・自分も友達も大切にする。	・友達の考えのよいところは自分の意見に積極的に取り入れていけるように、メモをとらせる。
5 テーマに対する自分の考えをまとめる。(個人)	8分	◎「共に生きるとは」 ということか自分の考えと、そう考えた理由を書こう。 ・違いを認めて支え合い、一人一人が自分らしく過ごすこと。自分は、相手の気持を考えずに悪口を言うてしまうことがあるけど、悪口を言うと相手も傷つくし、自分も相手から悪く思われてしまうので、そうならないように、お互いに気を付け合えるようにしていきたいと思ったからです。(ユニットで目指す生徒の姿)	・考えの変容が見取れるように、これまでの学習の中で自分の考えがどう変わったのかを理由で書けるようにする。また、考えの根拠に説得力をもたせられるよう、理由の中に自分の経験も積極的に取り上げさせる。
6 数人が発表し、他の人の考えも聞く。	5分		・色々な考え方があることを紹介できるよう意図的に異なる意見をもつ生徒を指名する。 ・このユニット全体で学習したことを、家族に説明し、保護者に聞いた感想を書いてもらうよう指示する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○これまで学習したことを基に、自分の考えをまとめることができている。

○ユニット 自他を尊重する(4時間中の1時間目 選択)

○ユニットテーマ 共に生きるとは

○主題名 迷いを乗り越えて(内容項目A-(1) 自主、自律、自由と責任)

○資料名 15二人の約束

○本時のねらい 相手との信頼関係を作るために、正しく判断しようとする心情を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 友達とのきまりや約束を考える。	5分	○友達とのきまりや約束していることはないか。 ・係の仕事の分担 ・登校するときの待ち合わせ時間	・テーマを確認し、4時間で追求することを伝える。
3 教科書の範読を聞き、私とユウコの行動を考える。(班) 4 教科書の続きを読み、学校生活での自分の行動について考える。(個人→全体)	20分 15分	○私とユウコの方がよかったところとよくなかったところはどこか。 ・私は決めつけないように相手の話を聞いている。 ・私は約束と違って、思ったことを言えていない。 ・ユウコは約束通り思ったことを言っている。 ・ユウコは私が嫌な気持ちになっていることに気付いていない。 ◎自分が正しいと思っていたのに、相手を困らせていたことや、その逆だったことがあるか。その時はどう思っていたか。 ・昼休みに使ったボールを、最後に触った人が片付けようと言っていたのに、いつも同じ人が片付けていた。その時は自分は関係ないと思っていたので気付かなかった。	・教科書 P85、1行目まで読む。 ・二人の約束の捉え方の違いをはっきりとさせるよう、比較していく。 ・考えがまとまらない生徒には、二人はどんな約束をして、どうして約束することになったのかを考えさせる。 ・ルールも使い方によっては悪用できてしまうことがあることに気付けるよう、いくつかの生徒の体験を紹介しながら考えさせる。 ・色々な場面で、自分の行動が正しいのかどうか見直していくことが大切であることに気付かせていく。
5 学習内容を振り返る。(個人)(一枚ポートフォリオ)	10分	○お互いに信頼し合えるようにするために、どのような生活をしていきたいか ・自分が正しいと思っても間違っていることがあるから、相手のことをよく考えて行動する。 ・約束だからやっていいという考えだけでなく、常に相手の気持ちを考える。	・自分にとっても他者にとってもよい結果となる正しさを、判断できるようにしていくことが大切であることを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○相手の気持ちを考えた正しい行動をしようとする気持ちを書くことができる。

○ユニット 充実した学校生活をつくる(3時間中の1時間目)

○ユニットテーマ 自分達でつくる学校

○主題名 私たちでつくる校風 (内容項目C-(15)よりよい学校生活)

○資料名 23ハイタッチがくれたもの

○本時のねらい よりよい学校をつくるために、チームとして取り組もうとする判断力を高める。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 学級などの話し合い活動について振り返る。	10分	○クラスや委員会での話し合いで積極的に発言しているか。 ・少人数なら話せる ・全然話せない。	・テーマを3時間で追求することを確認する。 ・積極的に集団での活動に参加しようとしてない部分があることに気付かせる。
3 教科書の範読を聞き、裕司に協力する場合としない場合を比べる。 (班→個人)	15分	○あなたが浩一だったら、裕司に協力するか、しないか。それぞれ選んだ結果どうなるかを相談して考えよう。 ・協力すれば、他にも協力する人が増えていく。 ・自分が協力しても他の人は協力しないかもしれない。 ・話し合いで決めることだから、他の人から違う意見を出していければいい。	・教科書P117、13行目まで読む。 ・ここでの判断を色々な立場から考えられるよう、それぞれのよい面、悪い面を考えさせる。 ・集団で活動するためにリーダーをフォローすることの大切さに気付かせる。
4 教科書の続きを読み、これまでの経験を振り返る。 (個人→全体)	15分	◎部活や学校行事などで協力して何かに挑戦しようとしたことはあるか。 また、どんな気持ちで活動したか。 ・去年の新人戦で勝てるように協力したら、今まで以上に集中して練習できた。 ・去年の運動会で、みんなで縄跳びを練習したらすごくクラスの雰囲気よくなった。	・小学校での活動を取り上げてもよいことを伝える。 ・クラス、専門委員会、部活など、色々な集団が活躍していることに気付けるように、それぞれの集団での意見が出るよう意図的に発表させる。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○よりよい学校にするために、どうしていけばよいだろうか。 ・学校の雰囲気をよくしていけるよう、生徒会本部や委員会の委員長を支えていけるように2年生全体で協力し合う。	・学校のリーダーとしての立場から考えられるよう、2学期では生徒会本部などの中心的役割も2年生が引き継ぐ時期であることを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○2年生で協力しあって、よりよい学校づくりをしようとする考えを書いている。

○ユニット 充実した学校生活をつくる(3時間中の2時間目)

○ユニットテーマ 自分達でつくる学校

○主題名 節度・節制の大切さ (内容項目A-(2) 節度・節制)

○資料名 34避難所にて

○本時のねらい 自分の生活を見直し、節度ある生活を心がけていこうとする判断力を高める。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 周りのことを考えずに行動したことについて振り返る。	10分	○生活の中でやるべきことをやらずに注意されたことはあるか。 ・集会で整列できなかったこと。 ・給食の準備が遅かったこと。	・テーマを3時間で追求することを確認する。 ・自分のことしか考えないで行動していることが日常からあることに気付かせる。
3 教科書の範読を聞き、手伝いをする場合としない場合を比べる。 (班→個人)	15分	○あなたなら、ボランティアの人の手伝いをするか、しないか。それぞれ選んだ結果どうなるかを相談して考えよう。 ・手伝いをすれば自分も前向きに生活できるようになる。 ・慣れない仕事だからボランティアの人の邪魔になる。 ・自分は被災者だから手伝わないけど、ボランティアの人に感謝の気持ちを伝える。	・教科書 P181、10行目まで読む。 ・次の発問で自分のことを振り返られるよう、それぞれの選択をした結果、自分がどうなってしまうのかまで考えさせる。
4 教科書の続きを読み、これまでの経験を振り返る。 (個人→全体)	15分	◎ きちんとした生活をするために自分で取り組もうとしていることはあるか。また、実行したときに自分はどうな気持ちになるか。 ・部活の道具の準備や片付けは、一番早くできるようにしている。どんどん行動できて気持ちがよくなる。 ・係の仕事は忘れないように毎日することになっている。そうすると仕事をやった達成感が感じられる。	・日常の多くの場面での例を挙げられるよう、ちょっとした心がけなども書かせる。 ・親や先生から言われた内容でも、最終的に自分でやろうと思って行動できたことは例として書かせる。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○普段の生活を充実させるために、どのような生活をしていけばよいか。 ・人任せになってしまう気持ちに負けないで、後輩の手本となれるように、周りをよく見て自分から進んで仕事をできるようにする。	・日常生活の大切さを確認できるように、学校行事や部活の大会等は日常生活の延長であることを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○節度ある生活をするために、自分から率先して行動しようとする考えを書いている。

○ユニット 充実した学校生活をつくる(3時間中の3時間目)

○ユニットテーマ 自分達でつくる学校

○本時のねらい これまでの学習を基に、ユニットテーマについて話し合い、自分の考えをまとめる

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 前時までの確認をし、本時のめあてを確認する。	7分	○これまでの授業で何を学んできただろう。	・発表させた生徒の意見以外にも目を向けられるよう、いろいろな考えがあってよいことを確認する。
めあて：「自分達でつくる学校」について、まとめよう			
2 テーマについての課題を考える。(班)	10分	○今後、2年生はどんなことを3年生から引き継ぐのか。 ・生徒会本部役員 ・専門委員会の委員長 ・最上級生としての行動	・今後2年生が学校の中心的な立場になることを確認し、ユニットテーマを自分のこととして考えられるようにする。
3 テーマについての考えを話し合う。(フリートーク)	15分	○テーマについて、じっくりと話し合っ、納得できた考えができたならホワイトボードに書こう。	・話し合いが活発になるように、発言を称賛したり、なぜそう考えたのか問い返したりする。 ・ホワイトボードに書かれた考えに対して自由に質問できるように、名前も書かせる。
4 ホワイトボードの他の人の考えを知る。(全体)	5分	・2年生一人一人がよりよい学校になるよう自分にできることを積極的にしていく。 ・日常生活を大事にして、あいさつや返事などから学校をよくしていく。	・友達の考えのよいところは自分の意見に積極的に取り入れていけるように、メモをとらせる。
4 ユニットテーマに対する自分の考えをまとめる。(個人)	10分	◎「自分達でつくる学校」を実現するために、どうしていけばよいか自分の考えと、そう考えた理由を書こう。 ・コロナで学校行事などできることは少なくなったけど、自分たちにできることを探して、日常生活の中から2年生が先頭に立って行動していけば、いい学校がつくれると思う。(ユニットで目指す生徒の姿)	・考えの変容が見取れるように、これまでの学習の中で自分の考えがどう変わったのかを理由で書けるようにする。また、考えの根拠に説得力をもたせられるよう、理由の中に自分の経験も積極的に取り上げさせる。
5 数人が発表し、他の人の考えも聞く。	5分		・色々な考え方があることを紹介できるよう意図的に異なる意見をもつ生徒を指名する。 ・このユニット全体で学習したことを、家族に説明し、保護者に聞いた感想を書いてもらうよう指示する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○これまで学習したことを基に、自分の考えをまとめることができている。

○ユニット 学校に貢献する(4時間中の1時間目)

○ユニットテーマ 残り半年、中学校のために何ができるか

○主題名 感謝の心に応える(内容項目B-(6)思いやり、感謝)

○資料名 22塩むすび

○本時のねらい 感謝し合える関係を作れるよう、自分から感謝の気持ちを伝えようとする実践意欲を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 避難所の生活について知る。	10分	○東日本大震災の避難所では、食事の準備は誰がしているか。 ・自衛隊 ・ボランティアの人	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・具体的なイメージを持てるよう、写真なども紹介しながら避難所の様子を伝える。
3 教科書の範読を聞き、私が塩むすびを作る場合と作らない場合を比べる。 (班→個人)	15分	○私が塩むすびづくりに参加した場合と参加しなかった場合、それぞれのその後の私はどうなりそうか。また、自分だったらどうすると思うか。 ・参加すれば、避難所の人達の役に立ち喜んでもらえてより頑張れる。 ・参加すれば、朝早くの仕事が増えて学校に行くのに疲れてしまう。 ・参加しなければ、学校に行く準備ができるが、自分勝手になる。	・教科書 P128、5行目まで読む。 ・私と避難所の人達との関係性を考えられるよう、それぞれの選択をしたとき私がどうなるのか考えさせる。 ・感謝している人も、感謝される人も力をもらってよい関係が作られていくことに気付かせていく。
4 教科書の続きを読み、感謝についてこれまでの経験を振り返る。 (個人)	15分	◎感謝の気持ちを行動でお返ししようとしたことはあるか。 ・部活で応援してくれた後輩や家族のために精一杯プレーしようとした。 ・いつも給食を作ってくれる給食センターの人に感謝して完食しようとしている。	・教科書の避難所の人達が残菜を残さなくなったように、自分も言葉だけでなく、いろいろな行動でも感謝を表せる場面があることに気付かせていく。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○感謝し合える関係を作るためにはどうしていきたいか。 ・自分中心の考えをしてしまうこともあるけど、お互いに感謝し合える関係になるように、まず自分が相手のことを考えて行動していきたい。	・仲の良い友達や家族だけでなく、自分に関わる多くの人達にも感謝を伝えられるように考えさせる。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○相手への感謝の気持ちを伝える方法について書くことができている。

○ユニット 学校に貢献する(4時間中の2時間目)

○ユニットテーマ 残り半年、中学校のために何ができるか

○主題名 自律的な生き方 (内容項目A-(1) 自主、自立、自由と責任)

○資料名 20町内会デビュー

○本時のねらい 自立した生活が送れるよう、良いと思った行動をしようとする実践意欲を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 自律について考える。	10分	○「律」をつかった単語は何があるか。 ・法律 ・律令 ・規律	・テーマを4時間で追求することを確認する。 ・律には「きまり」という意味があり、自律とは「自分のきまり従って行動すること」であることを確認する。
3 教科書の範読を聞き、3つの場面での明の気持ちを考える。 (班活動)	15分	○3つの場面での明はどれくらい自律した行動になっているか、グラフに印を書く。また、そう考えた理由は何か。 ・言われてやらされているので、自律ではない。 ・自分からやっているけど、褒められたからやっている気持ちもあるので半分以上自律。 ・足を取られそうになっている人の代わりに自分がやろうという気持ちなので自律。	・教科書 P119、12行目とP120、1行目、12行目の場面を比較させる。 ・自分の考えを分かりやすくできるように、棒グラフに印をつけさせてから理由を書かせる。 ・自律とはどういう気持ちから起こるのかを考えられるように、理由では明の気持ちも書かせる。
4 教科書の続きを読み、感謝についてこれまでの経験を振り返る。 (個人→全体)	15分	◎自分から進んで人のために行動したことはあるか。その時、なぜそうしようと思ったのか。 ・教室を移動するとき、係の仕事をしている友達が忙しそうだったので、荷物を持っていった。	・自律するためには、行動しようとする気持ちも必要であることに気付けるように、行動したときの気持ちも発表させる。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○自律するためには、どのように生活をしていきたいか。 ・面倒くさいとか恥ずかしいという気持ちに負けずに、周りをよく見て自分がやった方がいいと思ったことはすぐ実行したい。	・自律の大切さを考えさせるために、サッカー選手の長谷部誠が「整理整頓は、人生の半分である」というドイツのことわざを紹介していることを伝える。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○自主的に行動するために、よいと判断したものに対して積極的に行動しようとする気持ちを書いている。

○ユニット 学校に貢献する(4時間中の3時間目)

○ユニットテーマ 残り半年、中学校のために何ができるか

○主題名 我が校を愛する心 (内容項目C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実)

○資料名 35お別れ会

○本時のねらい 後悔しないように、自分にできることをしようとする実践意欲を育てる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 ユニットテーマを確認する。 2 中学校のよさについて考える。	10分	○中学校のよいところはどんなところか。 ・あいさつ ・歌 ・ボランティア	・テーマを4時間で追求することを確認する。
3 教科書の範読を聞き、僕が高校で部活をやった場合とやらなかった場合を比べる。 (班→個人)	15分	○高校で僕が部活をやった場合、何もやらなかった場合ではそれぞれどうなるだろうか。 ・部活に入って、今度はできるかぎりのことをする。 ・部活に入っても、途中でやる気がなくなるかもしれない。 ・部活に入らなければ、自分のことだけの生活をして卒業するときと同じ気持ちになる。	・教科書 P191、11 行目まで読む。 ・それぞれのよい可能性、悪い可能性を考えさせる。 ・所属する集団との関わりについて考えさせたいので、考えやすいのであれば高校での部活は運動部に限らず、文化部でも生徒会活動でも考えてよいことを伝える。
4 教科書の続きを読み、感謝についてこれまでの経験を振り返る。 (個人)	15分	◎クラスや部活などの仲間がいたからできたことはどんなことか。その時どんな気持ちだったか。 ・去年の合唱ではみんなで頑張って練習していい歌を歌えたので、みんなと歌えてよかったと思った。 ・部活では総体はできなかったけど、みんながいたから練習もがんばれたので、仲間のお陰だと思った。	・クラスや部活での活動は、今年に限らず、去年までの体験で書いてよいことを伝える。 ・集団との関わりについて考えさせたいので、特定の友達との協力とならないように考えさせる。
5 学習内容を振り返る。(個人) (一枚ポートフォリオ)	10分	○卒業式でできる限りのことをしたと思えるようにするために、これからどうしていきたいと思うか。 ・一緒に頑張ってきた中学校のみんなのおかげで今の自分があるので、専門委員会や行事の中で協力してみんなのためになることをしていきたい。	・コロナの影響で行事などは変更になることもあるので、行事に限らず、日常生活の中での心がけなども考えるように声かけをする。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート、発言

○中学校の一員として、残りの半年でどんなことをしていきたいのかを書いている。

○ユニット 学校に貢献する(4時間中の4時間目)

○ユニットテーマ 残り半年、中学校のために何ができるか

○本時のねらい これまでの学習を基に、ユニットテーマについて話し合い、自分の考えをまとめる。

学習活動	時間	主な発問、予想される生徒の姿	指導上の留意点及び支援
1 前時までの確認をし、本時のめあてを確認する。	7分	○これまでの授業で何を学んできただろう。	・発表させた生徒の意見以外にも目を向けられるよう、いろいろな考えがあってよいことを確認する。
めあて：「残り半年、中学校のために何ができるか」について、まとめよう			
2 テーマについての考えを話し合う。(フリートーク)	18分	○テーマについて、じっくりと話し合っ、納得できた考えができたならホワイトボードに書こう。 ・これまで友達や先生方に支えてもらったことに対する感謝を行動で表す。	・話し合いが活発になるように、発言を称賛したり、なぜそう考えたのか問い返したりする。 ・ホワイトボードに書かれた考えに対して自由に質問できるように、名前も書かせる。
3 ホワイトボードの他の人の考えを知る。(全体)	10分	・これまでの中学校のよい面を後輩に伝えられるよう、卒業まで行動で示す。 ・卒業式のときにやりきったと思えるように自分のやるべきことに全力を尽くす。	・友達の考えのよいところは自分の意見に積極的に取り入れていけるように、メモをとらせる。
4 テーマに対する自分の考えをまとめる。(個人)	10分	◎「残り半年、中学校のために何ができるか」についての自分の考えと、そう考えた理由を書こう。 ・例年通りの活動はできないかもしれないけど、これまでお世話になった中学校への感謝の気持ちをもって、3年生全体で中学校のよい伝統を後輩に伝えられるよう、日常生活からきちんと行動していきたい。	・考えの変容が見取れるように、これまでの学習の中で自分の考えがどう変わったのかを理由で書けるようにする。また、考えの根拠に説得力をもたせられるよう、理由の中に自分の経験も積極的に取り上げさせる。
5 数人が発表し、他の人の考えも聞く。	5分	(ユニットで目指す生徒の姿)	・色々な考え方があることを紹介できるよう意図的に指名する。 ・このユニット全体で学習したことを、家族に説明し、保護者に聞いた感想を書いてもらうよう指示する。

【評価項目】(観点・評価方法) ワークシート

○これまで学習したことを基に、自分の考えをまとめることができている。